

1. 3月1日(4月給与引き)から介護保険料率改定・1.2%へ

2月21日開催の健保組合会で平成25年度予算と介護保険(40歳以上)料率改定が承認されました。25年度収支は1千1百万円の黒字見込です。(H24見込・黒字1億6千万円、H26見込・赤字8千万円)

介護保険料率は3月から1.2%へ改定されます。(1.2%＝本人0.6%＋事業者0.6%、現行0.86%)
 新介護保険料は4月給与分から適用になります。当健保は被保険者数減で介護保険料が減少の一方、高齢化で国への介護納付金が毎年増加し、現行料率での介護保険料では賅えないためです。
 標準報酬月額34万円の方で月額578円の増です。(月1,462円→月2,040円。事業主も同)

また翌26年3月には介護料率が(1.2%から)1.4%へ改定されます。急激な増を抑えるための段階的な改定です。日本の介護保険制度維持のため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
 なお一般保険料率の変更はありません。健保・厚保・介護保険料・標準報酬一覧表は別添の通りです。

2. 冊子「免疫力を強化」3月中旬配布

3月中旬、冊子「暮らしの中で免疫力を強化する方法」を配布します。

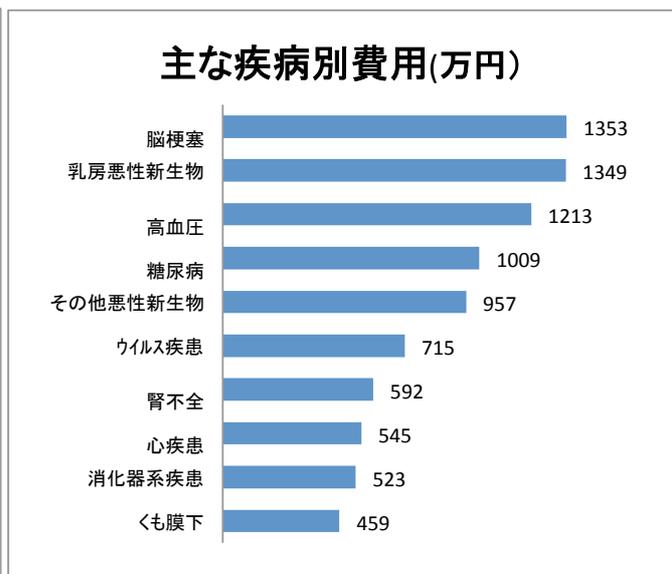
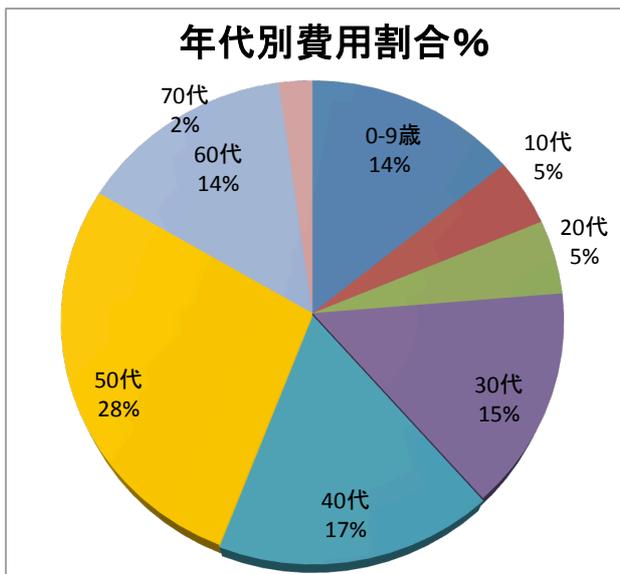
免疫の専門家である新瀉大学大学院教授・安保徹^{あほ}先生の監修です。
 人間を病気から守る免疫システム：白血球、自律神経、代謝エネルギーの3つの体内システムが説明されています。

食生活の見直し、適度な運動、ゆっくり長く吐く呼吸法、入浴等で心と体をリセットしましょう。私たちの免疫力を強化しましょう。



3. 支払基金診療報酬：4～11月実績

平成24年4～11月期の支払基金への診療報酬は以下の通りです。
 年齢が上がると疾病が増えます。免疫力を強化し自分の健康を守りましょう。



4. 第3回ジェネリック(後発薬)差額通知100名

2月に8～10月薬代がジェネリックと1千円以上差のある100名へ差額通知が送付されました。調剤薬局では薬効が同じで安価なジェネリックを希望しましょう。

以上